

人権推進課

1 人権尊重のまちづくり推進事業

平成 13 年 1 月に施行した「三木市人権尊重のまちづくり条例」に基づき策定している「三木市人権尊重のまちづくり基本計画」（以下「基本計画」という。）を実行に移すため、全ての行政分野における人権行政の確立に向けた全庁的な取組として「三木市人権尊重のまちづくり実施計画」（以下「実施計画」という。）を毎年策定し、関係各課が計画した事業の推進に取り組んでいる。

現行の「基本計画（第 3 次）」の計画期間が令和 6 年度で満了することに伴い、「基本計画（第 4 次）」を策定した。

(1) 人権尊重のまちづくり実施計画の推進

「実施計画」に関して、令和 6 年度の各課題に対する取組・推進状況を上期（令和 6 年 4 月～9 月）と全期（令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月）に分けて各部に提出を求め、三木市人権尊重のまちづくり推進審議会に報告の上、意見等を聴取した。

また、審議会での意見、各施策の取組状況を次の場所において公表した。

公表場所：市ホームページ、市役所情報公開コーナー、総合隣保館

(2) 三木市人権尊重のまちづくり推進審議会の開催

「三木市人権尊重のまちづくり条例」に基づき、平成 13 年 6 月に三木市人権尊重のまちづくり推進審議会を設置した。

審議会の構成メンバーは、広く市民の意見を反映させるため、各種関係団体代表者と一般公募者、学識経験者の計 20 人で構成している。

ア 任 期：令和 5 年 6 月 1 日～令和 7 年 5 月 31 日

イ 開催日及び協議内容

開催日	内 容
R6. 7. 12	・ 市長から審議会へ基本計画の作成について諮問 ・ 基本計画（第 4 次）の策定について
R6. 10. 21	・ 令和 6 年度実施計画取組状況（上半期）について ・ 基本計画（第 4 次）の策定状況について
R7. 1. 28	・ 基本計画（第 4 次）（案）について ・ 市への答申について
R7. 3. 28	・ 令和 6 年度実施計画年間取組状況等について ・ 基本計画（第 4 次）策定について（報告）

(3) 三木市人権尊重のまちづくり基本計画（第 4 次）の策定

ア 計画期間 令和 7 年度から令和 13 年度までの 7 か年

イ 基本計画の位置づけ

三木市人権尊重のまちづくり条例第 3 条「市は、人権施策の総合的な推進を図るため、人権施策の基本計画（以下「基本計画」という。）を定める。」に基づき策定する。

ウ 諮問及び答申

(7) 諮問日 令和 6 年 7 月 12 日

(4) 諮問先 三木市人権尊重のまちづくり推進審議会

(9) 諮問内容 基本計画（第 4 次）策定について（計画原案の作成）

(5) 答申日 令和 7 年 2 月 12 日

エ 策定会議

(7) 三木市人権尊重のまちづくりワーキング会議 委員数 6 人（1 回）

(4) 三木市人権尊重のまちづくり推進審議会 上記(2)イのとおり

(9) 三木市人権尊重のまちづくり懇話会

a 同和問題懇話会 委員数 8 人（3 回）

b 高齢者・障がい者懇話会 委員数 9 人（3 回）

c 子ども・外国人懇話会 委員数 8 人（3 回）

d 女性・他の人権課題懇話会 委員数 9 人（3 回）

オ パブリックコメント

意見募集の期間	意見等の応募者数
R7. 2. 19～3. 21	0 件

カ 計画策定 令和 7 年 3 月

- (4) パートナースhip制度の周知、啓発
性の多様性を認識し、お互いに尊重し合える社会をつくるための教育や啓発を行った。

2 同和生業資金償還事業

昭和 50 年度から 56 年度まで実施した同和生業資金の貸付に係る償還について、残る滞納者は 4 人、滞納額は、2,856,995 円(令和 7 年 3 月末)となっている。

滞納者に対しては、電話や文書、訪問などの方法を通じて個々の事案を十分に調査、把握し、それぞれの状況に応じた適切な償還方法で滞納解消に努めている。

3 男女共同参画事業

平成 11 年 6 月に施行された「男女共同参画社会基本法」及び平成 13 年 1 月に施行された「三木市人権尊重のまちづくり条例」に基づき、「三木市男女共同参画プラン(第 3 次)」及び「三木市男女共同参画プラン実施計画」を策定し、男女共同参画社会の実現に向けた施策を推進している。

また、現行の計画期間が令和 6 年度末までとなっているため、「三木市男女共同参画プラン(第 4 次)～誰もがいきいきと輝けるジェンダー平等のまち三木をめざして～」を策定した。

男女共同参画センターでは、「男は仕事、女は家庭」などの固定的な性別役割分担意識や、社会の制度や慣行の中にある偏った意識を変えていくため、講座の実施、女性のための相談事業、活動や交流の支援、情報誌の発行、情報の収集と提供を行っている。

また、女性たちがネットワークを広げることや女性の人材育成などの支援を行っている。

(1) 三木市男女共同参画プラン(第 4 次)

ア プランの期間 令和 7 年度から令和 13 年度までの 7 か年

イ プランの位置づけ

「男女共同参画社会基本法」に規定する「市町村男女共同参画計画」として策定し、「DV 防止法」に規定する「市町村基本計画」および「女性活躍推進法」に規定する「市町村推進計画」、「困難女性支援法」に規定する「市町村基本計画」を兼ねる。

ウ 男女共同参画プラン策定委員会

(ア) 任 期：令和 6 年 7 月 11 日～令和 7 年 3 月 31 日

(イ) 委員数：18 人

(ウ) 開催日及び協議内容

開催日	内 容
R6. 7. 19	・三木市男女共同参画に関する市民意識調査結果について ・三木市男女共同参画プラン(第 4 次)の策定について ・今後の予定について
R6. 10. 7	・三木市男女共同参画プラン(第 3 次)達成度調査報告書について ・三木市男女共同参画プラン(第 4 次)の体系図及び具体的施策について
R6. 12. 16	・三木市男女共同参画プラン(第 4 次)素案の検討 ・三木市男女共同参画プラン(第 4 次)重点施策について
R7. 1. 20	・三木市男女共同参画プラン(第 4 次)案の検討 ・三木市男女共同参画プラン(第 4 次)サブタイトルについて ・今後の予定について

エ パブリックコメント

意見募集の期間	意見等の応募者数
R7. 2. 19～3. 21	0 件

オ 計画策定 令和 7 年 3 月

(2) 三木市男女共同参画セミナー

ア 出前講座

回	開催日・場所	講 師	内 容	参加人数
1	R6. 7. 17 緑が丘町公民館	中村 和子 (オフィス EEE 男女共同参画 アドバイザー)	持続可能なまちづくり～ 誰もが住んで良かったと思えるまちに～	61
2	R6. 8. 9 自由が丘公民館			40
3	R6. 8. 29 志染町公民館	小川 真知子	人生 100 年時代 多様化す	23

4	R6. 10. 9 口吉川町公民館	(NPO 法人 SEAN 理事長)	る自治会のあり方	15
5	R6. 10. 10 細川町公民館	斉藤 容子 (関西国際大学客員教授)	男女(ともに)に学ぼう防災	14
6	R7. 1. 21 中央公民館	黒崎 輝美 (健康生きがいくりアドバイザー)	女のものさし・男の定規	67
7	R7. 2. 1 青山公民館	遠矢 家永子 (NPO 法人 SEAN 教育部門「G-Free」代表)	それってアウトかも? 知らず知らずのうちにやっていますか?	18

イ 弁護士による法律セミナー

開催日	場所・講師	内 容	参加人数
R6. 11. 27	教育センター 吉倉 美加子 (弁護士)	～知らないで損!!～ 働く人は守られています	会場:17 オンライン:3

ウ 出張! 女性のための働き方セミナー (兵庫県と共催)

開催日	場所・講師	内 容	参加人数
R6. 7. 20	教育センター 大津 恵美子 (FP 事務所・スマイルポート大津代表)	すごろくゲームで将来必要なお金を体感! ～子育て世代のマネープラン～	7

エ 男女共同参画セミナー (子育て支援課と共催)

開催日・場所	講 師	内 容	参加人数
R6. 6. 22 児童センター	榎本 英樹 (あそびとお話のデリバリードコデモ代表)	すぐデキル! 親子 DE おうち遊び術 子どもの「やってみたい!」を育てよう	大人: 28 子ども: 30
R6. 7. 28 総合保健福祉センター	NPO 法人ファザーリング・ジャパン関西	今度はピザ! パパと一緒に作っちゃおう!	大人: 6 子ども: 7
R7. 2. 9 児童センター	NPO 法人ファザーリング・ジャパン関西	ダイナミックに遊んじゃおう! ～パパとつくるダンボールハウス～	大人: 25 子ども: 32

オ 男性のための簡単料理講座

回	開催日	講師・場所	内 容	参加人数
1	R6. 9. 15	三木市いずみ会 総合保健福祉センター	カレーライス、サラダ	15
2	R6. 10. 20		オムライス、コンソメスープ	14
3	R6. 11. 17		ナポリタン、キャベツときゅうりのサラダ	11

カ 再就職応援セミナー (ハローワーク西神と共催)

回	開催日	講師・場所	内 容	参加人数
1	R7. 1. 29	西神公共職業安定所 就職支援ナビゲーター	履歴書・職務経歴書の書き方	8
2	R7. 2. 21	教育センター	模擬面接セミナー	12

キ 女性リーダー育成講座「みきウィメンズすてっぷあつぷ塾」

回	開催日・場所	講 師	内 容	参加人数
1	R6. 8. 18 市民活動センター	中村 和子 (オフィス EEE 男女共同参画アドバイザー)	(オープン講座) 家庭の防災 みんなの不安と対策を教えて 不安なことって何でしょう??	13
2	R6. 9. 23 緑が丘町公民館	松尾 やよい (夢こらば主宰)	作ってカンタン! 美味しい非常食	10

3	R6. 11. 24 ダイソー三木店 市民活動センター		100 均ツアー「100 均で揃える 防災グッズ」	8
4	R6. 12. 22 市民活動センター	松尾 やよい (夢こらぼ主宰)	防災フェスタ開催に向けて	8
5	R7. 1. 19 教育センター	中村 和子 (オフィス EEE 男女共 同参画アドバイザー) 松尾 やよい (夢こらぼ主宰)		9
6	R7. 2. 2 教育センター			9
7	R7. 3. 2 中央公民館		防災フェスタ開催！	10
8	R7. 3. 15 教育センター		防災フェスタの振り返り、次年 度の活動について	8

ク 子ども工作教室（みきウィメンズすてっぷあっぷ塾オープン講座と同時開催）

回	開催日・場所	講師	内 容	参加人数
1	R6.8.18 市民活動センター	東播建設労働組合	木製ミニチュアを作ろう！	14

ケ みきウィメンズすてっぷあっぷ塾防災フェスタ

開催日	場所・講師	内 容	参加人数
R7.3.2	中央公民館 斉藤 容子 (関西国際大学客員教授) 松尾 やよい (夢こらぼ主宰) クローバー (おの女性防災グループ)	家族で楽しむみんなの防災フェスタ ・ミニ講演「女性たちの避難所リアル」 ・防災〇×クイズ ・防災お菓子バック製作体験他	133

コ 北播磨管内女性リーダー交流会（北播磨管内男女共同参画担当課で共催）

回	開催日・場所	講師	内 容	参加人数
1	R6.6.23 三木山森林公園	小崎 恭弘 (大阪教育大学教授)	～将来、家事育児ができるようになるために～高校生への授業プログラムを考えよう	26
2	R6.12.7 やしろ国際学習塾	中貝 宗治 (前豊岡市長) 松尾 やよい (夢こらぼ主宰)	女性が住みたいまちへ！チェンジ！	44

(3) 男女共同参画週間記念講演会

開催日	場所・講師	内 容	参加人数
R6.6.23	三木山森林公園 小崎 恭弘 (大阪教育大学教授)	パパとママのベストバランスを考える～チーム我が家の戦力育児～	会場：52 オンライン：1

(4) 市職員対象の男女共同参画研修

回	開催日	場所・講師	内 容	参加人数
1	R6.11.5	教育センター 沼澤 郁美 (特定社会保険労務士)	育児・介護休業法（産後パパ育児）から学ぶ男女共同参画	42
2	R6.11.14	中村 和子 (オフィス EEE 男女共同参画アドバイザー)		16

(5) 市民企画講座

男女共同参画社会を実現するために、男女共同参画センターが実施する事業の他に、地域で活動している市民や団体と協働して取り組む事業として、市民や団体が企画する男女共同参画に関する講座を公募し、講座を実施するための支援を行った。

ア 募集期間 6月3日～7月31日

イ 募集件数 1件

ウ 応募件数 0件

(6) 啓発

ア 男女共同参画週間啓発展示

6月23日から29日の「男女共同参画週間」中、市役所プロムナードでパネル展を実施した。

イ 11月12日から25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間中、市役所入口の風除室でパネル展を実施するとともに、三木市立教育センター正面玄関及び、みつき広場モニュメント「三刃の木」のパープルライトアップを実施した。

ウ 夏休み期間中、教育センターロビーでデートDV防止のための啓発展示を行った。

エ その他の啓発

	実 施 日	場 所	内 容
1	R6. 5. 31～R6. 6. 30	志染町公民館	パネル展示により性的マイノリティに関する理解を深めるための啓発等を行った。
2	R6. 6. 3～R6. 6. 28	自由が丘公民館	
3	R6. 7. 1～R6. 7. 31	別所町公民館	
4	R6. 8. 1～R6. 8. 16	緑が丘町公民館（文化祭）	
5	R6. 8. 17	文化会館（市民じんけんの集い）	
6	R6. 10. 9～R6. 11. 13	口吉川町公民館	
7	R6. 10. 11～R6. 10. 13	緑が丘町公民館（文化祭）	
8	R6. 11. 6～R6. 11. 10	細川町公民館（文化祭）	
9	R6. 11. 6～R6. 11. 10	青山公民館（文化祭）	
10	R6. 11. 22～R6. 11. 29	中央公民館（文化祭）	
11	R6. 12. 3～R6. 12. 27	吉川町公民館	
12	R6. 12. 4～R6. 12. 8	総合隣保館（文化祭）	
13	R7. 1. 15. ～R7. 1. 30	三木南交流センター	
14	R7. 3. 3～R7. 3. 31	中央図書館	
15	常設	マックスバリュ三木北店	
16	常設	マックスバリュ別所店	

(7) 情報誌の発行

情報誌編集グループが企画・編集を行った、A4判4ページの情報誌「こらぼーよ」を発行した。

ア 発行回数 4回

イ 発行部数 約5,500部/回

ウ 配布方法

(ア) 市内公共施設全般、大型店舗、公共交通機関の駅、近隣市町などへの配付

(イ) 各自治会での回覧

(ウ) 男女共同参画センター主催事業の参加者への配布

エ 発刊号名称、掲載内容等

発刊号名称	テ ー マ	主な掲載内容
68号 2024・春	パートナーシップ 制度導入を受けて	・「三木市パートナーシップ制度」導入について ・民間企業ではこんなサービスが受けられます ・「だれもが暮らしやすいまち三木」をめざして
69号 2024・夏	誰もが活躍できる まち三木	・少子化時代～若者に選ばれる企業になるには～ ・「ジェンダーレンズ」で何が見える？ ・誰もが住みやすい地域をつくるには ・みきウィメンズすてっぷあつぷ塾 塾生募集！
70号 2024・秋	ジェンダーって？	・「ジェンダー」について ・「セックス」について ・「ジェンダーギャップ指数」について ・「ダイバーシティ&インクルージョン」について

71号 2025・冬	市民意識調査の結果から	・子育て世代のわたしが子どもたちに期待すること ・「職場における女性管理職の割合」について ・年代別でこんなに違う男女の意識
---------------	-------------	--

(8) 三木市男女共同参画センター運営委員会

- ア 任 期 2年（令和5年5月1日～令和7年4月30日）
イ 委 員 数 14人（女性11人、男性3人）
ウ 活 動 内 容 男女共同参画センターの運営、事業及び取組に協力するとともに協議を行う。
エ 開 催 回 数 4回（内2回は書面開催）

(9) 女性のための相談室

女性問題相談員（2人、1日1人対応）が、男女共同参画センターで電話相談及び面談に応じている。

ア 相談日時

- (7) 電話相談 毎週火曜日 午前10時～正午、毎週木曜日 午後1時～4時
(1) 予約相談 毎週火曜日 午後1時～4時、毎週木曜日 午前10時～正午（電話・面談）

イ 相談件数

238人（電話225人、面談13人）から相談があった。内容別相談件数は365件（電話350件、面談15件）となっており、主な相談内容は次のとおりである。

ウ 内容別相談件数の順位

順位	相談内容	件 数（件）	割 合（％）
1	家族関係	135	37.0
2	対人関係	77	21.1
3	夫婦関係	33	9.0

(10) 女性のための弁護士相談

配偶者や交際相手とのトラブル（DV、ストーカー被害、借金）、離婚（親権、養育費、財産分与）などの女性の悩みに理解のある女性弁護士が行う面接相談（無料）を実施した。

- ア 相談弁護士 兵庫県弁護士会から選任された弁護士
イ 相談日時 毎月第4水曜日 午後1時50分～午後4時30分（1人40分）
ウ 相談人数 40人

(11) 女性相談

女性相談支援員が、配偶者や交際相手とのトラブルについて電話及び面談で相談に応じている。

- ア 相談日時 毎週月曜日～金曜日 午前9時から午後5時まで
イ 相談件数 421件（電話269件、面談152件）
ウ 相談者実人数 119人
エ 関係機関への連絡 22件
オ 証明書発行 18件

(12) 女性のための出前チャレンジ相談（兵庫県と共催）

再就職、起業、資格取得などをめざす女性のためのチャレンジ相談を実施した。

- ア 相談日時 12月6日 午前9時～11時50分（1人50分）
イ 相談員 飯鉢 仁弥（キャリアコンサルタント、産業カウンセラー）
ウ 相談人数 2人

(13) 男女共同参画センター登録グループの活動支援

女性の地位向上、男女共同参画社会の実現をめざした学習活動を行うグループや、女性の社会参加を促進し実践するグループに対し、活動支援を行った。

	グループ名	会員数	活動内容
1	情報誌「こらぼーよ」編集グループ	5	男女共同参画センター情報誌の企画・編集、市民への情報の周知など

(14) DV被害者の新たな生活応援事業「こらぼーよステーション」

お金や身の回りの物を持ち出せずシェルターなどに緊急避難したDV被害者が、シェルター退所後に自宅以外で新たな生活を始められるように、自宅で不要になった生活物資の寄贈を市民に呼びかけ、寄贈を受けた物資をDV被害者に提供することにより、新たな生活を始める手助けを行った。

- ア 寄贈者 3人
イ 寄贈物品数 160点（台所用品：27点、日用雑貨：71点、文具類57点、その他5点）

(15) 図書・情報の提供

ア 男女共同参画や女性・男性問題に関する図書を整備し、貸出も行っている。(貸出は1人5冊、2週間)

(7) 所蔵数 図書 2,662 冊、ビデオ・DVD 51 種類

(4) 利用者 8 人

(7) 貸出数 25 冊

イ 各地の男女共同参画センターが発行している情報誌や講座案内のチラシなどを配架し、自由に閲覧・配布できるようにしている。

(16) パートナーシップ制度届出受理証明書の交付

互いを人生のパートナーとして、相互の人権を尊重し、日常生活において継続的に協力し合うことを約束した一方又は双方が性的マイノリティの二人や、何らかの理由で婚姻届を出さない又は出せない事実婚の関係を証明するパートナーシップ制度届出受理証明書を交付した。

ア 届出件数 2 件

イ 証明書交付件数 2 件

4 人権相談事業

人権擁護委員(11人)による相談事業を実施した。

(1) 定例相談(祝日を除く)

日時・会場	毎月第1金曜日	午後1時～4時	緑が丘町公民館
	毎月第3木曜日	午後1時～4時	市役所2階入札控室
	5、8、10、3月の 第2木曜日	午後1時～4時	吉川支所相談室

(2) 特設相談

人権擁護委員の日	6月7日	午後1時～4時	緑が丘町公民館
人権週間	12月5日	午後1時～4時	吉川支所相談室

5 人権教育事業

(1) 人権教育指導員研修会

社会教育における人権教育・啓発の推進リーダーとしての資質の向上を図るため実施した。

回	開催日・場所	研修内容	参加人数
1	R6.4.24 総合隣保館	委嘱、令和6年度の活動及び研修計画等の資料配布 前年度の成果と課題について	15
2	R6.5.18 三木市文化会館	三同教総会 各専門部会	16
3	R6.5.23 総合隣保館	多文化共生 啓発資料についてのグループ協議	15
4	R6.6.7 総合隣保館	人権作文・標語の審査会	13
5	R6.6.14 教育センター R6.6.21 青山公民館 R6.6.28 吉川町公民館	同和教育セミナー	6
6	R6.7.25 教育センター	男女共生チーム実践発表	15
7	R6.7.27 西脇市	東人教研究大会	2
8	R6.8.17 三木市文化会館	市民じんけんの集い	15
9	R6.8.20 広島県福山市	視察研修 ホロコースト記念館	13
10	R6.10.24 別所町公民館	高齢者の人権、シャフルボード体験	18

11	R6. 10. 15 総合隣保館 R6. 10. 18 吉川町公民館 R6. 10. 22 総合隣保館	人権フォーラム	4
12	R6. 11. 16 教育センター・サンライフ三木・中央図書館	三同教研究大会	11
13	R6. 12. 7～R6. 12. 8 総合隣保館	隣保館文化祭 展示 4 日～8 日 講演「私は部落から逃げてきた」 講師：ジャーナリスト 西田 昌矢	4
14	R6. 12. 26 教育センター	第 1 回人権リーダー育成講座 「Chair Ski という道具とのめぐり逢い」～一つのスキーを目指して～ 講師 兵庫県チェアスキー協会 事務局 井上 英年	16
15	R7. 2. 5 教育センター	第 2 回人権リーダー育成講座 「ちがいを楽しみ、共に生きる力をはぐくみあうために」 ファシリテーター：NIDE・国際理解教育センター副代表 鉄井 宣人	9
16	R7. 2. 25 大阪府箕面市	視察研修 箕面市萱野中央人権文化センター	13
17	R7. 3. 13 総合隣保館	人権啓発 DVD「あなたのいる庭」の視聴 今年度の反省とまとめ	17
合 計			202

(2) 人権教育に関する講座

市民の人権意識の高揚を図るため開催した。

回	開催日・場所	研修内容	参加人数
1	R6. 8. 17 三木市文化会館	市民じんけんの集い 「差別をなくする輪をひろげよう」 市民運動作品表彰式 ・人権作文・標語・ポスター優秀作品の表彰 ・人権作文朗読 ・講演 「僕達にはキラキラする義務などない」 講師 山田ルイ 53 世 ・バリアフリー映画会 『私ときどきレッサーパンダ』上映	491
2	R6. 12. 8 三木市総合隣保館	総合隣保館文化祭 ・市民団体等作品展示 ・舞台発表 ・催物 ・記念講演 「私は部落から逃げてきた」 講師 ジャーナリスト 西田 昌矢	287

(3) 社会教育指導者養成

住民学習の学習内容・実施方法等を学ぶため、住民学習の指導者に対し実施した。

事業名	内 容	実施日	実施場所
住民学習指導者研修 住民学習リーダー研修	実施回数 23 回 参加者人数 961 人 行政職員、教職員、人権教育指導員他 各地区地推協等で実施	年 間	各公民館 市役所

(4) 住民学習

人権尊重のまちづくりを進めるため各自治会・各地区人権・同和教育推進協議会で実施した。

事業名	内 容	実施日	実施場所
住民学習会	三 木 地 区 44 回 828 人	R6. 7 月 ～R7. 3 月	各地区
	三木南地区 8 回 164 人		
	別 所 地 区 14 回 236 人		
	志 染 地 区 18 回 327 人		
	細 川 地 区 143 回 330 人		
	口吉川地区 16 回 297 人		
	緑が丘地区 9 回 176 人		
	自由が丘地区 12 回 214 人		
	青 山 地 区 6 回 120 人		
	吉 川 地 区 44 回 571 人		
	合 計 314 回 3,263 人		
地区別人権・ 同和教育研究 大会	三 木 地 区 参加者 300 人 内容 <人権ミニフェスティバル> 人権ポスター展示・人権クイズ 展示・人権作文発表会	R6. 11. 24	中央公民館
	三木南地区 参加者 30 人 内容 「人生 100 年 地域とともに健やかに生 きる」～ご存じですか? オーラルフレ イル～ 講師 関西国際大学 保健医療学部 准教授 高田 美子	R7. 1. 18	三木南交流 センター
	別 所 地 区 参加者 82 人 内容 「阪神・淡路大震災から 30 年」 ～歌の力を信じて～ 講師 神戸親和大学教育学部 准教授 白井 真	R7. 2. 9	別所町 公民館
	志 染 地 区 参加者 46 人 内容 「ウトロで終わらない ウトロ の歴史」 講師 ウトロ平和祈念館 副館長 金 秀煥	R6. 11. 2	志染町 公民館
	細 川 地 区 参加者 57 人 内容 「日常生活に潜むハラスメント」 講師 兵庫県人権啓発協会 助野 慎一郎	R6. 11. 24	細川町 公民館
	口吉川地区 参加者 53 人 内容 「つらい気持ちに寄り添うため に」 講師 NPO 法人ゲートキーパー 支援センター 理事長 竹内 志津香	R6. 12. 7	口吉川町 公民館

	緑が丘地区 参加者 75 人 内容 「パパは女子高生だった」 ～自分らしく生きること～ 講師 Like myself 代表 前田 良	R7. 2. 9	緑が丘町 公民館
	自由が丘地区 参加者 122 人 内容 人権落語「笑いでつなぐ心と心」 講師 多可町人権啓発専門員 近藤 文好	R7. 2. 16	自由が丘 公民館
	青山地区 参加者 20 人 内容 「セクシャルハラスメント」 講師 NPO 法人 SEAN 遠矢家 永子	R7. 2. 1	青山公民館
	吉川地区 参加者 133 人 内容 映画「破戒」上演	R6. 12. 14	吉川町 公民館

(5) 団体別学習

女性セミナー、PTA、老人クラブ、民生委員児童委員等の団体別学習を実施した。

事業名	内 容	実施日	実施場所
団体別研修会	女性セミナー・老人クラブ・登録団体 23 回 631 人	年 間	各地区
保・認・幼・小・中・ 特別支援学校 PTA 人 権・同和研修会	保・認・幼稚園(所) 8 園 参加者 313 人 小・特学校 13 校 参加者 1,527 人 中学校 4 校 参加者 71 人	年 間	各学校

(6) 人権教育総合推進事業

ア 教育事業

人権尊重の仲間づくりや地域づくりをするために実施した。

事業名		回数	参加人数	場 所
A 地区教育事業	成 人	0	0	各地区公民館・集会所等
	青少年	50	333	
B 地区教育事業	成 人	0	0	〃
	青少年	0	0	
C 地区教育事業	成 人	0	0	〃
	青少年	31	110	
D 地区教育事業	成 人	0	0	〃
	青少年	0	0	
E 地区教育事業	成 人	8	826	〃
	青少年	39	259	
F 地区教育事業	成 人	0	0	〃
	青少年	0	0	
G 地区教育事業	成 人	1	24	〃
	青少年	38	412	
H 地区教育事業	成 人	0	0	〃
	青少年	0	0	
I 地区教育事業	成 人	0	0	〃
	青少年	54	226	

J 地区教育事業	成 人	0	0	〃
	青少年	19	1,020	
教育事業 学習交流会	R6.11.9 参加人数 90 人			三木山総合公園 総合体育館

イ 人権リーダー育成講座

人権学習会等で、リーダーとして活躍できる人材の育成をめざして実施した。

回	開催日・場所	研 修 内 容	参加人数
1	R6.12.26 教育センター	第1回人権リーダー育成講座 「Chair Ski という道具とのめぐり逢い」 ～1つのスキーを目指して～ 講師 兵庫県チェアスキー協会 事務局 井上 英年	35
2	R7.2.5 教育センター	第2回人権リーダー育成講座 「ちがいを楽しみ、共に生きる力をはぐくみあ うために」 ファシリテーター：NIED・国際理解教育センタ ー副代表 鉄井 宣人	27

ウ 人権教育団体活動助成事業

市民団体等の人権に関わる教育活動を支援した。

登録団体名	活 動 内 容
テアトロ三木	人権問題について演劇を通じて広く啓発
鳥町推進協議会	学習会やイベントを通じて人権意識高揚を図る
いのちを考えるみき市 民の会	いのちの尊厳を学ぶ人権学習会等の開催
人権書道きらきら	「書」を通じて自由に交流を楽しむ
まなびや・いちご塾	子どもの人権等、さまざまな人権学習の開催
NPO 法人自立生活支援セ ンター歩	さまざまな人権問題に関する講演会等の開催
三木市国際交流協会	外国にルーツのある子どもへの学習会等の開催

6 人権啓発に関すること

(1) 啓発資料の作成

以下の資料を作成・編集し、配布した。

- ア 人権問題啓発資料「ふるさとに生きる Vol.34」・・・【市内全戸配布】
- イ 人権作文集第54集・・・【学校園他配付】
- ウ 2024年度合本版三同教研究実践集・・・【三同教関係団体配布】
- エ 視聴覚資料一覧・・・【学校、企業、各団体】

(2) 人権尊重のまちづくり推進強調月間

人権尊重のまちづくりの機運を醸成するため、以下の取組を実施した。

ア ポスター・標語・作文の募集

作品区分	ポスター（点）	標 語（点）	作 文（点）
小学校	3,020	2,973	2,068
中学校・特別支援学校	1,604	1,605	1,573
PTA・一般	募集せず	46	22
合 計	4,624	4,624	3,663

イ 広報活動

- (ア) スローガン入りウェットティッシュの配布
- (イ) 公用車の啓発マグネットシートの貼付
- (ウ) 啓発ポスター・標語ポスターの作成配布
- (エ) 「広報みき(8月号)」等による啓発
- (オ) 人権尊重のまちづくり推進強調月間街頭啓発（啓発カー市内巡回）
- (カ) みっきい広場において啓発ポスター等の展示

ウ 「差別をなくする輪をひろげよう」市民運動作品表彰式

- (7) 人権作文・標語・ポスター優秀作品の表彰
- (イ) 人権作文朗読

7 三木市人権・同和教育協議会

三同教と連携することにより、部落差別をはじめ、あらゆる差別を解消するための人権・同和教育の推進を図った。

(1) 総会、研究大会、専門部会研修会

人権・同和教育や啓発を進め、人権尊重のまちづくりを進める研修会や実践交流等を行った。

(2) じんけんサポート事業（31件）

PTAや老人クラブなどの団体や企業が人権研修会や視察・交流研修などを行う際の費用の一部を補助した。

(3) じんけんスタディ事業（中学校2件、高等学校2件）

若者層への人権意識の高揚、啓発のため中・高・大学生を対象として、デートDV・情報モラル・LGBTQ+など、幅広い内容の人権研修を実施する中学校、高等学校に対し経費の一部を助成した。

(4) じんけん・こころの小窓事業（毎週2回）

人権についての身近な話題をラジオ番組で提供した。

(5) じんけんフィールドワーク事業（2回）

人権に関わりのある地域などを訪れ、差別の歴史や人々の思いなどを学ぶことにより、差別や偏見を解消していく機運を高めるための研修を開催する事業である。1回目は8月20日、広島県福山市（ホロコースト記念館）、2回目は2月8日、三木市内（頌徳碑）にてフィールドワークを行った。

(6) じんけんカレンダー作成事業（1,000部）

「じんけんフォト&メッセージコンテスト」の募集を行い、その入賞作品（特選・優秀賞・入選の12作品）を掲載したカレンダーを作成した。市民への人権啓発を進めるため学校や公民館等の場で1年間見てもらえるようカレンダーに掲載・作成し、配布した。

(7) 学習活動支援事業

東人教研究大会資料の配布や書籍購入等、人権教育・啓発活動の活性化を図った。

(8) 人権ふれあい交流事業

5月にふれあいスポーツデー事業を文化・スポーツ課と共催でホースランドパークにて実施し、スタッフとして11人の参加があった。11月に障がい者ふれあいスポーツ大会を障害福祉課と共催で三木山総合公園総合体育館にて実施し、スタッフとして6人の参加があった。また8月にはバリアフリー映画会として「私ときどきレッサーパンダ」を上映し、親子で220人の参加があった。

(9) 青少年教育補助事業（10件）

子どもたちのたくましい心を育てていくため、地域に根差す人権団体に対し、教育事業に係る経費を助成した。

(10) 三同教サポーター制度（20人）

三同教の活動に興味を有する地域住民の方を三同教サポーターとして登録し、活動に参画していただくことで、三同教の活動の活性化を図った。

(11) インターネット差別書き込みモニタリング事業

市からの受託事業。インターネットのモニタリングにより差別的な書き込みを早期発見し、サイト管理者等に削除依頼し拡散防止及び抑制を図った。また、このような現状を周知し、市民からの情報を受け付け、差別解消に向けた取組の必要性を啓発した。

ア 監視回数：97回

イ 発見件数：13件

ウ 削除依頼件数：13件

エ 削除済件数：5件

8 総合隣保館事業に関すること

(1) 隣保館運営委員会

隣保館の運営方針及び主要な事業の企画等、館の適正かつ円滑な運営を図るため開催した。

回	開催日	審議内容	参加人数
1	R6.7.2	(1) 令和5年度総合隣保館事業実施状況について (2) 令和6年度総合隣保館事業計画について (3) 令和6年度総合隣保館文化祭について (4) 令和6年人権フォーラムについて (5) その他	11
2	R7.3.14	(1) 令和6年度総合隣保館事業実施状況について (2) 令和6年度総合隣保館利用状況について (3) 令和6年度総合隣保館事業における成果と課題 (4) 令和7年度総合隣保館運営方針(案)について (5) 令和7年度総合隣保館事業計画(案)について (6) その他	8

(2) 相談事業

地域住民の健康の増進と生活上の相談に応じるとともに、適切な指導・助言を行うことにより生活の社会的、経済的向上を図ることを目的として実施した。

相談事業の開催状況

区分	内 容	相談件数
相談事業	・経営相談 20件 ・税務相談 77件 ・金融相談 5件 ・労働相談 0件 ・経理相談 12件 ・人権相談 23件 ・福祉相談 0件 ・教育相談 0件 ・職業相談 0件 ・生活相談 0件 ・その他 1件	計 138

(3) 地域福祉事業

あらゆる人権問題の速やかな解決を図るため、各地区(集会所)等において福祉の増進、生活の向上をめざした事業を実施し、住民の自立を支援した。

事業名	事業内容	実施回数	参加人数
寄せ植え教室	(寄せ植えで)文化祭を飾ろう	1	11

(4) 啓発広報活動事業

あらゆる人権問題に対する理解と認識を深め、その解決に資するため、自主的に研修する市民の集いとして、同和教育セミナー等各種講演会を開催するとともに、啓発広報活動として広報誌を発行した。

ア 啓発活動事業

(7) 同和教育セミナー

市民が同和問題を正しく理解し、解決するために必要な知識を得るための研修の場として6月に3回実施した。

開催日	内 容	参加人数
R6.6.14	テーマ 「インターネットに表出する実社会への人権問題」 講師 公益財団法人反差別・人権研究所みえ 松村 元樹	120
R6.6.21	テーマ 「であいつながり・差別解消をめざす北芝のまちづくり」 ～誰もが安心して住み続けられるまちへ～ 講師 NPO法人暮らしづくりネットワーク北芝 堀橋 美帆	75
R6.6.28	テーマ 「性の多様性から『じぶん』について考える」 ～誰もが排除されない社会をめざして子どもたちとの出会いから見てきたこと～ 講師 にじいろ i_Ru 田中 一歩、近藤 孝子	69

合 計	264
-----	-----

(イ) 人権フォーラム

あらゆる人権問題について、市民の方が経験や思いを発表することにより、お互いにふれあいを図るとともに、認識を深めることで、市民の人権意識が高揚することを目的として実施した。

開催日	内 容	参加人数
R6. 10. 15	作文朗読「ぼくの兄ちゃん」 緑が丘小学校 5 年 井上 煌琥 作文朗読「子どもと親の向き合い方」 別所中学校 PTA 宮崎 綾美 「日本が自分を変えたこと」 三木市国際交流協会 会員 平田平良 ヴィニシウス 『つなぐ』ことでどの家庭も幸せに 神和認定こども園 子ども・子育て支援担当保育教諭 岩谷 真由子	54
R6. 10. 18	作文朗読「外国人だから」 三木中学校 3 年 アチャリヤ ウパマ 「主夫をして気づいたこと」 三木市社会教育委員 池田 博文 「卵を採る為のニワトリについて」 兵庫県動物愛護推進員 倉田 優子 「あと一回休んだら留年です」 三木市議会議員 戸田 昌樹	52
R6. 10. 22	作文朗読「人とちがうことはおもしろい」 自由が丘小学校 4 年 鎌田 健次 「日本とラオスの違い」 三木市国際交流協会 会員 プービエンブンナリー 「つながる・つながっていく」～杉の子学級から～ 志染小学校児童生徒支援教員 藤原 美和 「何歳になっても自分らしくいきいきと暮らしていこう」 人権教育指導員 浦崎 秀一	64
合 計		170

(ウ) 文化祭記念講演会等

12 月の人権週間に実施する意義と大切さを伝える場として、また、あらゆる人権問題について感性に訴え、人権意識の普及、高揚を図ることを目的として実施した。

本年度は、前夜祭及び催物も復活して開催することができた。

記念講演

「私は部落から逃げてきた」

ジャーナリスト 西田 昌矢

(エ) 総合隣保館視察研修会（フィールドワーク）

同和問題をはじめとする人権問題について、知識と見識を深め人権感覚を磨く場として実施した。

開催日	内 容	参加人数
R6. 10. 5	・ 堺市舩松人権歴史資料館（堺市立人権ふれあいセンター） 舩松の歴史や人権啓発運動について同館のガイドから説明を受けた。 その後、館周辺の主要ポイントで説明を聞きながらフィールドワークを行った。	21
R7. 1. 11	・ 賀川記念館 同館の職員から賀川豊彦の業績と批判的検証についての講義を受け、その後、館内を見学した。	14

(オ) 図書の充実と利用

- ・ 貸出冊数 92 冊
- ・ 貸出人数 55 人

- ・購入冊数 28冊（一般 0冊、子ども 28冊）

イ 広報活動事業

(7) 隣保館だよりの発行

- ・発行部数 毎月発行 5,000 部
- ・配布先 市内全自治会（回覧または配布）、公共施設等

(i) 啓発冊子「しあわせに生きる」の発行

- ・発行部数 950 部（年 1 回）
- ・配布先 各種団体代表、教育機関、公共施設等

(5) 教養文化及びその他に関する事業

地区住民の教養文化の向上と生活改善を図るとともに、周辺地域住民の参加により交流を促進することによって、人権・同和問題の解決を図った。

ア 教養文化講座

No	教室名	実施回数	延べ参加人数	指導者	備考
1	手芸サークル	15	63	-	月 2 回
2	茶道教室	24	55	杉本 さわゑ	月 2 回
3	書を楽しむきらきら書道教室	11	126	藤原 常貴	月 1 回
4	エアロビクス講座	16	158	寺坂 恵美子	月 2 回
5	スマートフォン体験講座	2	17	スマートフォンアドバイザー	R6. 7. 29 R7. 1. 15
6	消費者トラブルセミナー	1	16	消費生活センター相談員	R7. 3. 26
合 計		69	435		

イ 生活講座及び教養文化講座関連事業

事業名	実施日	内 容	参加人数
フラワーアレンジメント教室	R6. 10. 31	テーマ「秋の彩り」 講師 田中 真紀	9
	R6. 12. 28	テーマ「新春を生ける」 講師 田中 真紀	9
	R7. 2. 28	テーマ「お雛様」 講師 田中 真紀	10
合 計			28

ウ 子ども教室

幼稚園児、小学校を対象にさまざまな体験をととして、明るく、たくましく、やさしい心を育むことを目的に実施した。

(7) 夏休み子ども教室

実施期間 7 月 29 日～8 月 25 日（10 日間）

延べ参加人数 94 人

(i) 子ども教室

物づくりに興味をもたせるとともに、体力づくり、知的好奇心の高揚、交流による仲間づくりをととして人権感覚を養うために実施した。

教室名	実施回数	延べ参加人数	指導者	備考
土曜子ども教室	17	99	館職員	主に第 2・4 土曜日
交流ハイキング	1	10	館職員	R7. 3. 25

合 計	18	109		
-----	----	-----	--	--

(ウ) 総合隣保館文化祭

豊かな人間関係と人権を大切にする共生の社会を築き、共に人権文化を創造していくことを目的とし、多くの人が人権と差別について学び、交流する文化の祭典として、本年度は、5年ぶりに記念講演をはじめ、飲食等の催物も再開し、ほぼコロナ禍前に行っていたすべての行事を実施した。

開催日	実施内容	出席人数
R6. 12. 8	開会行事 記念講演 「私は部落から逃げてきた」 ジャーナリスト 西田 昌矢 舞台発表 RASH：ダンス 教育事業あすなろ学級生：太鼓演奏 教育事業大空学級生：詩吟 ひまわりウインドアンサンブル：演奏 教育事業杉の子学級（杉の子座）・テアトロ三木：人権劇 抽選会 催物 みにょんち じゃがいもの家 あしながおばさん 自由が丘空手同好会 ミラクル 実行委員会 RASH 〃 コスモスの会 ビギナー 教養文化講座（茶道教室） 広野小学校大空学級 神戸地方法務局明石支局・明石人権擁護委員協議会 花の苗の販売 物品販売 焼きそば販売 ポップコーン販売 するめのキムチ パン販売 ミニうどん、コロケ たこ焼販売、スーパーボール 山菜おこわ販売 コーヒー・ジュース販売 呈茶コーナー 花の苗の販売 啓発チラシ配布	287
R6. 12. 7	子どもたち全員集合 ゲーム（輪投げ、シャトルダーツ、ボッチャ じんけんカードめくり）	25
	前夜祭 DVD 上映会「コーダ あいのうた」	38
R6. 12. 4～ 12. 8	隣保館関係団体等による作品展示 24 団体が出展	110

(6) 社会調査（高齢者単独世帯への訪問活動）

地域の事情を的確に把握し、福祉の向上につなげるため、高齢者世帯への訪問・面談を実施している。今年度は、8月（一部）及び2月に実施した。

(7) 所蔵図書の整理について

館で所蔵している図書について、データベース化作業を実施している。すべての読み取り作業を終え、検索できるシステムの試作品を作成中。

(8) その他

「転倒骨折予防教室」が10月～2月の間、全12回、総合隣保館で実施された。

9 子どもいじめ防止センターに関すること

(1) いじめ相談等の受付及び対応状況

ア 相談日及び時間 月曜日～金曜日（祝日、年末年始除く） 午前9時～午後5時

イ 相談受付の件数内訳（月別）

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
方法	面接相談													0
	メール相談													0
	電話相談	1			1			1	1		1	1	1	7
内容	いじめ	1							1		1	1	1	5
	その他（※）				1			1						2
相談者	本人							1						1
	家族	1							1		1	1	1	5
	友人・知人・地域				1			1						2
	学校・関係機関													0

※10月の電話相談で、本人と友人と一緒に相談されたため、方法、内容のトータルに比べて相談者が1件多くなっている。

※その他・・・「子どもいじめ防止センターはどんな相談をするところか」との問い合わせや、学級担任の言動がつかなくてしんどいなど

ウ 対応状況

相談者に寄り添い、傾聴するとともに、相談者と共に解決方法を考える姿勢で相談を受けた。相談者の了解を得た上で学校等への情報提供を行った事案については、情報提供後も学校に様子を聞くなど、教育委員会や学校と連携し解決に努めた。

なお、子どもいじめ防止センターへの相談のうち、子どもの生命、心身又は財産に関わる重大ないじめ事案はなかった。

(2) 広報・啓発活動

ア 啓発カードの配布

学校や公共施設等に設置した。

イ 啓発クリアフォルダーの配布

6,500枚を作成し、全小中学生に配布した。

ウ 啓発ポスターの掲示

ポスターカレンダー700枚を作成し、学校、自治会、公共施設、病院、大型店舗などに掲示を依頼した。

エ 子どもいじめ防止センターだよりの発行

親子でいじめについて話し合うきっかけづくりとして、A4判4ページのセンターだより「ハートフル」を各学期に1回発行し、全小中学生の家庭に配付するとともに、市内各自治会へ回覧した。

発行番号	発行月	内 容	発行部数
33号	令和6年7月	“こどもまんなか”でいきましょう！	各 10,000
34号	令和6年12月	“相手の身になる練習”をしよう	
35号	令和7年3月	子どもは安心して過ごさせていますか？	

オ 弁護士によるいじめ防止出前授業の実施

弁護士が、人権の視点からいじめについての出前授業を行うことにより、いじめを防止する意識を育成するため、兵庫県弁護士会の協力を得て、全6中学校20クラスで実施した。

(3) 教育委員会及び学校との連携

教育委員会といじめ防止法、「生徒指導提要」（新）によるいじめ指導や対応等について情報共有を行った。

また、市内小中特別支援学校全20校を訪問し（1学期：20校・2学期：11校）、学校いじめ防止基本方針の策定状況や学校の状況を聞くとともに、対応や連携について話し合った。